

土木建築委員会 県内所管事務調査の概要

【令和元年11月24日（日）】

◆調査事項：大分県のダムについて

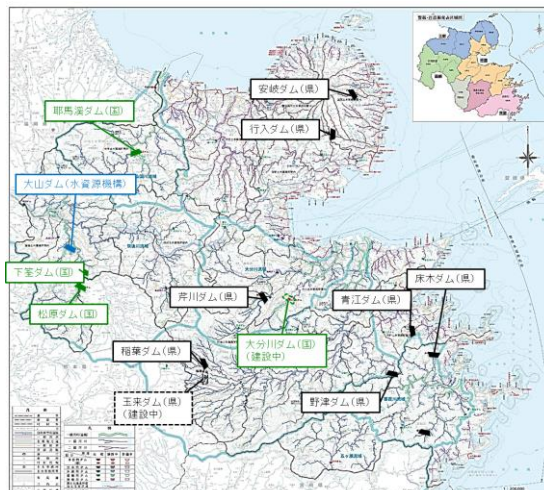
＜概要＞

大分県内のダムのうち、令和元年度に完成する国土交通省の大分川ダム及び県が現在建設中の玉来ダムについて、大分県土木建築部河川課から説明を受けた。

玉来ダムについては、6月4日に当委員会で現地調査を行っているが、その時点からの変更事項として、地質の関係で工程の見直しが生じたこと等の説明があった。

＜主な質疑等＞

- ・大分川ダム漁業補償について
- ・玉来ダムの工事の進捗について



◆調査箇所：大分川ダム（大分市大字下原）

＜概要＞

大分川ダムは、大分川及び七瀬川沿川の治水、大分都市圏への上水道供給、河川環境用水を目的に築造されたロックフィルダムである。昭和53年に建設事業に着手、令和元年度末に完成、令和2年4月から供用開始となる。総貯水容量は、2,400万トンであり、建設中も含めた県内15あるダムの5番目の容量である。

国土交通省が主催する完成式に出席した。アトラクションとして、地元の岡倉こども神楽の舞などが披露された。



＜式の概要＞

- ・アトラクション（岡倉こども神楽、豊後大友宗麟鉄砲隊）
- ・式辞、祝辞、来賓紹介
- ・故郷献花、くす玉開披、ダム名披露 など

◆調査箇所：道の駅のつはる（大分市大字下原）

＜概要＞

大分川ダムの完成とあわせ、国道442号線沿いに11月30日オープン道の駅のつはるを調査した。

野津原地区にある国指定重要文化財である後藤家住宅をイメージした外観となっており、ダム湖に面する壁面が全面ガラス張り、室内からダム湖を一望できる。

野津原地区を代表する秋の味覚である「豊の七瀬柿」を使ったソフトクリームや、ジビエなど地域の食材をいかした料理を提供するレストランなどがある。

令和2年3月に完成する多目的広場とあわせて、野津原地区の活性化を担う施設として期待される。



＜主な質疑等＞

- ・道の駅整備の財源について
- ・レストランの地元食材を使った料理について
- ・直売部分の農産物の供給について